

学術交流実績



徳島大学

フロリダアトランティック大学

2010年3月

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 交流のまとめ | 1 |
| 相互訪問 | |
| 1. 教員の訪問実績 | |
| 1-1 本学教員の派遣実績 | 3 |
| 1-2 FAU 教員の受入実績 | 12 |
| 2. 事務職員の訪問実績 | |
| 2-1 本学事務職員の派遣実績 | 18 |
| 3. 学生の訪問実績 | |
| 3-1 本学学生の派遣実績 | 19 |
| 3-2 FAU 学生の受入実績 | 24 |
| 4. 卒業生の訪問実績 | |
| 4-1 本学卒業生の派遣実績 | 26 |
| 共同研究 | 27 |
| その他の交流 | 34 |

徳島大学とフロリダアトランティック大学（FAU）の交流のまとめ

平成 22（2010）年 3 月現在

(1) 交流開始 1989 年 8 月

(2) 交流協定締結 1995 年 3 月, 更新 1998 年 3 月, 2001 年 3 月, 2004 年 3 月, 2009 年 3 月

徳島大学大学院先端技術科学教育部と FAU 工学・コンピュータサイエンス学部との間に共同学位プログラムを創設するための協定締結 2008 年 6 月, 更新 2009 年 3 月

(3) 教員の訪問

・ 本学から FAU への派遣（客員研究員あるいはポストドクトラルフェローとして 3 か月以上の滞在）

3 名, 3 回

（3 か月未満の訪問）

33 名, 61 回

（文部省在外研究員 1 回, 科学研究費補助金 11 回, 国際連携大学院経費 5 回, 国際化加速プログラム経費 1 回, 文部科学省経費 1 回, 学長裁量経費 2 回, 藤井・大塚国際教育研究交流資金 9 回, 国際連携推進室経費 1 回, FAU 1 回, 徳島大学）

・ FAU から本学への受入（客員研究員として 3 か月以上の滞在） 1 名, 1 回

（3 か月未満の訪問）

27 名, 42 回

（科学研究費補助金 5 回, 国際連携大学院経費 5 回, 徳島大学／藤井・大塚国際教育研究交流資金 19 回）

(4) 職員の訪問

本学から FAU への派遣 8 名, 8 回（文部科学省経費 3 回, 徳島大学経費 5 回）

(5) 学生の訪問

・ 本学から FAU への派遣（客員研究者, インターンシップとして 3 か月以上の滞在） 15 名, 15 回

（留学生として 3 か月以上の滞在）

1 名, 2 回

（3 か月未満の滞在）

42 名, 44 回

（文部科学省短期留学推進制度 4 回, 徳島大学／藤井・大塚国際教育研究交流資金 23 回）

* 上記には, 短期訪問研修を行った保健学科看護学専攻学生 20 名, 放射線技術科学専攻学生 9 名を含む。

・ FAU から本学への受入（特別聴講生として 3 か月以上の滞在） 7 名, 7 回

（3 か月未満の訪問）

2 名, 2 回

(6) 学位取得者の訪問

本学から FAU への訪問（ポストドクトラルフェローとして 3 か月以上の滞在） 1 名, 1 回

(7) 共同研究助成金

文部省科学研究費補助金 国際学術研究大学間協力研究 1997～1999 年度

日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究（C） 2009～2011 年度

(8) 共同研究業績

著書 2 冊

書籍の一部執筆 1 冊

審査論文 53 編

総説 3 編

学会等発表 69 件

国際会議におけるセッションの共催 5 回

(9) 交流部局

徳島大学 総合科学部, 医学部, 工学部, 大学院ソシオアーツアンドサイエンス研究部, 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 大学院ソシオテクノサイエンス研究部, 国際センター

FAU 理学部（複合システム・脳科学センターを含む）、生体医科学部、看護学部、
建築・都市公共学部、教育学部、工学・コンピュータ科学部、人文学部、名誉学部、
国際プログラム室

(10) コーディネーター

徳島大学 学長補佐，国際センター長 細井和雄教授
大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部基礎科学研究部門人文科学分野（総合科学部人間文化学科） 宮崎隆義教授
大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座（医学部保健学科放射線技術科学専攻） 長篠博文教授
大学院ソシオテクノサイエンス研究部情報ソリューション部門計算機システム工学講座（工学部電気電子工学科） 橋爪正樹教授
FAU 国際プログラム室長，キャサリン・S・メシーヴィッツ教授
生体医科学部基礎科学科 柴田芳美教授
工学・コンピュータ科学部電気工学・コンピュータ理工学科 アビジット・S・パンディア教授

(11) 平成 21 年度の交流と平成 22 年度の交流予定

教職員の交流

- ・ FAU 理学部化学・生化学科 学科長 ラマスワミー・ナラヤナン教授，共同研究に関する討論のため徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座（医学部保健学科看護学専攻）近藤和也教授を訪問（平成 21 年 3～4 月）
- ・ 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座 長篠博文教授，共同研究に関する討論のため FAU 工学・コンピュータ科学部電気工学・コンピュータ理工学科 アビジット・S・パンディア教授他を訪問，交流推進に関する調査・協議のため国際プログラム室 キャサリン・S・メシーヴィッツ室長他を訪問（平成 21 年 9 月実施，平成 22 年 9 月予定）
- ・ FAU 魚日本語担当非常勤講師，私的受講生を引率して徳島大学保健科学部門医用情報科学講座 長篠博文教授，国際センター 坂田准教授を訪問
- ・ FAU 国際プログラム室 キャサリン・S・メシーヴィッツ室長，第 4 回国際連携大学院教育に関するシンポジウム出席のため徳島大学大学院先端技術科学教育部を訪問（平成 21 年 12 月）
- ・ FAU 工学・コンピュータ科学部電気工学・コンピュータ理工学科 アビジット・S・パンディア教授，第 4 回国際連携大学院教育に関するシンポジウム出席のため徳島大学大学院先端技術科学教育部訪問，共同研究に関する討論のため，工学部 木内陽介学部長補佐，大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座 長篠博文教授他を訪問（平成 21 年 12 月）
- ・ 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部ライフシステム部門物質機能化学講座 安澤幹人准教授，交流推進に関する調査・協議のため FAU 工学・コンピュータ科学部長 カール・K・スティーヴンス教授他を訪問（平成 22 年 3 月）
- ・ 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座（医学部保健学科放射線技術科学専攻）教員，学生の FAU 短期訪問研修同行（平成 22 年 3 月実施，平成 23 年 3 月予定）
- ・ 徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部基礎科学研究部門人文科学分野 宮崎隆義教授，岸江信介教授，交流推進に関する調査・協議のため FAU 国際プログラム室キャサリン・S・メシーヴィッツ室長，人文科学部長 マンジュナト・ペンダクル教授他訪問予定（平成 22 年 9 月）

学生の交流

- ・ FAU 人文学部 ダニエル・リンチ，総合科学部留学（特別聴講生，平成 19 年 10 月から 2 年 6 か月）
- ・ FAU 人文学部 ヴィクトリア・ブロイア，総合科学部在学（2 年次，3 年次）
- ・ 徳島大学医学部保健学科放射線技術科学専攻学生，FAU 短期訪問研修（平成 22 年 3 月実施，平成 23 年 3 月予定）
- ・ FAU 人文学部学生 1 名が平成 22 年 10 月からの総合科学部留学を希望

学位取得者の交流

- ・ 徳島大学大学院栄養生命科学教育部博士後期課程修了 小木曾真理，FAU 生体医科学部基礎科学科 柴田芳美教授の下でポストドクトラルフェローとして研究（平成 20 年 5 月から平成 22 年 7 月まで）

相互訪問

1. 教員の訪問実績

1-1 本学教員のフロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 派遣実績

1. 年月：平成元年8月～平成2年7月
氏名：長篠博文
所属・職名：工学部電気工学科・講師
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システムセンター・センター長
理学部心理学科・教授
用務：神経回路のモデリングに関する研究
経費：電気電子システム講座奨学研究費
2. 年月：平成4年4月
氏名：長篠博文
所属・職名：工学部電気工学科・講師
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長
理学部心理学科・教授
用務：神経回路のモデリングに関する研究についての討論と
「複合システムの力学」ワークショップ出席，研究発表
経費：電気電子システム講座奨学研究費
3. 年月：平成5年3月
氏名：長篠博文
所属・職名：工学部電気工学科・講師
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長
理学部心理学科・教授
用務：神経回路のモデリングに関する研究討論
経費：電気電子システム講座奨学研究費
4. 年月：平成5年12月
氏名：村上理一
所属・職名：工学部機械工学科・教授
受入教官：
所属・職名：工学部機械工学科・教授
用務：研究討論
5. 年月：平成6年6月
氏名：英崇夫
所属・職名：工学部機械工学科・教授
受入教官：Craig. S. Hartley (クレイグ・S・ハートリー)
所属・職名：工学部・学部長
用務：研究討論及び学術交流協定締結打ち合わせ
6. 年月：平成7年3月～4月
氏名：河野清
所属・職名：工学部・学部長，工学部建設工学科・教授

木内陽介

所属・職名：工学部電気電子工学科・教授

受入教官：Anthony J. Catanese (アンソニー・J・カタニーズ)

職名：学長

用務：学術交流協定締結調印

7. 年月：平成8年6月

氏名：長篠博文

所属・職名：工学部電気工学科・講師

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長

理学部心理学科・教授

経費：徳島大学工業会 (一部)

8. 年月：平成9年12月

氏名：森田雄介

所属・職名：医学部医学科・教授

木内陽介

所属・職名：工学部電気電子工学科・教授

長篠博文

所属・職名：工学部電気工学科・講師

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長

理学部心理学科・教授

用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論

経費：文部省科学研究費国際学術研究 (大学間協力研究)

9. 年月：平成10年6月

氏名：山口久雄

所属・職名：医学部医学科・助教授

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長

理学部心理学科・教授

用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論

経費：文部省科学研究費国際学術研究 (大学間協力研究)

10. 年月：平成10年8月～12月

氏名：近藤正

所属・職名：医療技術短期大学部一般教育・助教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学部コンピュータ科学工学科・助教授

用務：ニューラルネットワークスの理論開発とその医療科学への応用に関する研究討論

経費：文部省在外研究員

11. 年月：平成10年12月

氏名：木内陽介

所属・職名：工学部電気電子工学科・教授

村上理一

所属・職名：工学部機械工学科・教授

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長，理学部心理学科・教授

用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論

経費：文部省科学研究費国際学術研究 (大学間協力研究)

12. 年月：平成11年7月

氏名：長篠博文

所属・職名：工学部電気工学科・助教授

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長，理学部心理学科・教授

用務：神経回路のモデリングに関する研究について討論

経費：徳島大学工業会（一部）

13. 年月：平成 11 年 11 月

氏名：近藤正

所属・職名：医療技術短期大学部一般教育・助教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学部コンピュータ科学工学科・教授

用務：ニューラルネットワークの理論開発とその医療科学への応用に関する研究討論

経費：私費

14. 年月：平成 11 年 12 月

氏名：森本忠興

所属・職名：医療技術短期大学部看護学科・教授

木内陽介

所属・職名：工学部電気電子工学科・教授

鎌野琢也

所属・職名：工学部電気電子工学科・助教授

受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)

所属・職名：複合システム脳科学センター・センター長，理学部心理学科・教授

用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論

経費：文部省科学研究費基盤研究（B）（2）

15. 年月：平成 13 年 7 月

氏名：長篠博文

所属・職名：工学部電気電子工学科・助教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学部コンピュータ科学工学科・教授

用務：ニューラルネットワークの医用生体工学への応用に関する研究討論

経費：私費

16. 年月：平成 14 年 12 月

氏名：多田敏子

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修派遣に関する調査

経費：徳島大学教育改善推進費

17. 年月：平成 16 年 3 月 28 日～4 月 4 日

氏名：多田敏子

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修引率

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

18. 年月：平成 16 年 3 月 28 日～4 月 4 日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

Jaime Ortiz (ハイメ・オルティス)

所属・職名：国際プログラム室・室長，商学部経済学科・教授

用務：看護学専攻学生の研修引率及びコーディネーターとしての大学間交流推進のための討論

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

19. 年月：平成16年4月4日～10日

氏名：和田眞

所属・職名：総合科学部自然システム学科・教授，学長補佐（情報）

受入教官：Jaime Ortiz (ハイメ・オルティス)

所属・職名：国際プログラム室・室長，商学部経済学科・教授

用務：米国大学における自主独立経営及び国際的教育・研究支援組織の運営体制調査

経費：文部科学省平成15年度新世紀国際教育交流プロジェクト学者・専門家等派遣プログラム

20. 年月：平成17年3月13～20日

氏名：近藤裕子

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

竹内美恵子

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修引率

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

21. 年月：平成17年3月13～20日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修引率及びコーディネーターとしての大学間交流推進のための討論

経費：私費

22. 年月：平成17年7月12～16日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授，国際プログラム室・室長

用務：EEG モニタリングによる脳活動システム変化の検出に関する研究討論及び

コーディネーターとしての大学間交流推進のための協議

経費：科学研究費補助金

23. 年月：平成17年12月11～14日

氏名：曾根三郎

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・教授，研究部長

山野修司

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授，医学部長補佐（教育担当）

受入教官：Frank Brogan (フランク・ブログン)

所属・職名：学長

用務：交流推進のための調査及び討論

経費：校費

24. 年月：平成18年3月13～16日

氏名：上野淳二

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長
用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率
経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

25. 年月：平成 18 年 3 月 13～18 日

氏名：坂田浩

所属・職名：留学生センター・助教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：学生派遣・受入に関する調査・討論

経費：国際連携推進室経費

26. 年月：平成 18 年 3 月 13～20 日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：コーディネーターとしての大学間交流推進のための討論

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

27. 年月：平成 18 年 3 月 13～20 日

氏名：雄西智恵美

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

川西千恵美

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修引率

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

28. 年月：平成 18 年 3 月 13～20 日

氏名：谷岡哲也

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・助教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

Rozzano C. Locsin (ロツァーノ・C・ロクシン)

所属・職名：看護学部・教授

用務：看護学専攻学生の研修同行及び共同研究打合せ

経費：委任経理金

29. 年月：平成 18 年 5 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日

氏名：篠原勉

所属・職名：ヘルスバイオサイエンス研究部医科学部門・講師

受入教官：柴田芳美

所属・職名：理学部生体医科学科 (8 月より生体医科学部)・准教授

用務：感染症と動脈硬化との関連についての検討，chitin の Th1 adjuvant としての効果の検討，macrophage における COX-2 の誘導及び細胞内局在に関する検討，新規レクチンの生理活性の検討の共同研究

経費：フロリダアトランティック大学

30. 年月：平成 18 年 5 月 4 日

氏名：塩田洋

所属・職名：ヘルスバイオサイエンス研究部医科学部門視覚病態学分野・教授

江口洋

所属・職名：医学部歯学部附属病院眼科・講師

土ヶ内健史
所属・職名：医学部歯学部附属病院眼科・医員
受入教官：Dwight W. Warren (ドワイト・W・ワレン)
所属・職名：理学部生体医科学科・学科長，教授
用務：将来の視覚病態学に関する共同研究を視野に入れた見学ならびに研究討議

31. 年月：平成 18 年 9 月 4～8 日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科放射線技術科学専攻・教授
受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：コーディネーターとしての大学間交流推進のための討論

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授

用務：生体医工学に関する共同研究討論

経費：科学研究費補助金

32. 年月：平成 18 年 9 月 4～8 日

氏名：藤本憲市

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・助手

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授

用務：生体医工学に関する共同研究討論

経費：(株)フクダ電子研究助成金

33. 年月：平成 18 年 12 月 11 日

氏名：谷憲治

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部医科学部門・助教授

西岡安彦

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部医科学部門・講師

受入教官：柴田芳美

所属・職名：生体医科学部基礎科学科・准教授

用務：研究討論

経費：日本呼吸器学会

34. 年月：平成 19 年 2 月 14～18 日

氏名：望月秋利

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部エコシステムデザイン部門および工学部建設
工学科・教授

氏名・上田哲史

所属・職名：高度情報化基盤センターマルチメディアシステム研究部門・助教授

氏名・芥川正武

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部ライフシステム部門および工学部電気電子工
学科・講師

受入教官：Karl K. Steevns (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

用務：国際連携大学院に関する協議

経費：文部科学省

35. 年月：平成 19 年 2 月 19～25 日

氏名：坂田浩

所属・職名：留学生センター・助教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：ビデオ教材録画に関する調査

経費：学長裁量経費

36. 年月：平成 19 年 3 月 13～17 日

氏名：上野淳二

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

37. 年月：平成 19 年 3 月 13～20 日

氏名：多田敏子

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・教授

谷岡哲也

所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・助教授

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

用務：看護学専攻学生の研修引率

経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

38. 年月：平成 19 年 7 月 3～7 日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授

Ali A. Danesh (アリ・A・ダネッシュ)

所属・職名：教育学部コミュニケーション学科・准教授，聴覚診療施設長

用務：生体医工学に関する共同研究討論

受入教官：Karl K. Stevens (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

用務：コーディネーターとしての交流推進のための討論

39. 年月：平成 20 年 1 月

氏名：三神厚

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部エコシステムデザイン部門社会基盤システム
工学講座および工学部建設工学科・准教授

受入教官：Y. K. Lin (Y・K・リン)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部応用統計学研究センター・センター長，教授

用務：共同研究に関する討論

経費：文部科学省（国際連携大学院に関する経費）

40. 年月：平成 20 年 3 月 16～19 日

氏名：上野淳二

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率

経費：委任経理金

41. 年月：平成 20 年 3 月 16～19 日

氏名：長篠博文

所属・職名：医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

柴田芳美

所属・職名：生体医科学部，准教授
Gary W. Perry (ギャリー・W・ペリー)

所属・職名：理学部・学部長，教授
Karl K. Stevens (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率，医療人養成における接遇教育の調査，理学部および工学・コンピュータ科学部との交流・共同研究等の推進に関する協議

経費：徳島大学パイロット事業推進経費

42. 年月：平成20年5月

氏名：村上理一

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部先進物質材料部門および工学部機械工学科・教授

受入教官：Karl K. Steevens (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

用務：国際連携大学院に関する協定締結

経費：文部科学省

43. 年月：平成21年3月11～14日

氏名：生島仁史

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座および医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率

経費：講座等経費

44. 年月：平成21年3月11～14日

氏名：長篠博文

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座および医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授

用務：学生の短期訪問研修に関する打合せ，学術交流協定更新に関する打合せ，共同研究に関する協議

経費：文部科学省国際化加速プログラム経費

45. 年月：平成21年9月6～9日

氏名：三神厚

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部エコシステムデザイン部門社会基盤システム工学講座および工学部建設工学科・准教授

受入教官：Yan Yong (ヤン・ヨン)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木環境地球数学科・教授

用務：共同研究と学生交流に関する討論

経費：文部科学省（国際連携大学院に関する経費）

46. 年月：平成21年9月13～18日

氏名：長篠博文

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座および医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部電気工学コンピュータ理工学科・教授

Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

Ali A. Danesh (アリ・A・ダネッシュ)

所属・職名：教育学部コミュニケーション学科・准教授，聴覚診療施設長

Ramaswamy Narayanan (ラマスワミー・ナラヤナン)

所属・職名：副学長補佐 (研究担当)，理学部化学生化学科・教授，学科長

Ali Zilouchian (アリ・ジロウチャン)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部副学部長 (教育担当)，コンピュータ工学電気工学コンピュータ科学科・教授

Marie Larrondo-Petrie (マリー・ラロンド-ペトリー)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部副学部長 (国際交流担当)，コンピュータ工学電気工学コンピュータ科学科・教授

用務：共同研究に関する協議，学術交流協定更新と今後の交流の推進に関する打合せ，

経費：科学研究費補助金 (日本学術振興会)

47. 年月：平成 22 年 3 月 15～18 日

氏名：安澤幹人

所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部エコシステムデザイン部門社会基盤システム工学講座および工学部科学応用工学科・准教授

受入教官：Karl K. Steevens (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

用務：共同研究と学生交流に関する討論

経費：文部科学省 (国際連携大学院に関する経費)

48. 年月：平成 22 年 3 月 17～21 日

氏名：上野淳二

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座および医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

Gary W. Perry (ギャリー・W・ペリー)

所属・職名：理学部・学部長，教授

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率及び医学物理学教育における協力に関する協議

経費：講座等経費

49. 年月：平成 22 年 3 月 17～21 日

氏名：長篠博文

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座および医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

Gary W. Perry (ギャリー・W・ペリー)

所属・職名：理学部・学部長，教授

Manjunath Pendakur (マンジュナト・ペンダクル)

所属・職名：人文学部・学部長，教授

Karl K. Stevens (カール・K・スティーヴンス)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部・学部長，教授

Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部電気工学コンピュータ理工学科・教授

用務：放射線技術科学専攻学生の研修引率，医学物理学教育における協力・新しい交流事業に関する協議，共同研究に関する討論

経費：講座等経費

1-2 フロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 教員の本学受入れ実績

1. 年月：平成5年1月～5月
氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
所属・職名：工学部コンピュータ科学工学科・講師
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：ニューラルネットワークの医用診断への応用に関する研究
経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金，外国人若手研究員受入事業
2. 年月：平成6年7月
氏名：Craig. S. Hartley (クレイグ・S・ハートリー)
所属・職名：工学部・学部長
受入教官：河野清
所属・職名：工学部・学部長，建設工学科・教授
用務：学術交流協定締結打ち合わせ
経費：徳島大学国際教育研究交流資金，外国人研究者招へい事業
3. 年月：平成6年8月
氏名：Gonzalo C. deGuzman (ゴンザロ・C・デグズマン)
所属・職名：複合システム・脳科学センター
職名：研究助教授
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：振動的神経活動のモデルに関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金，外国人研究者招へい事業
4. 年月：平成6年12月
氏名：M. Arockiasamy (M・アロキヤサミー)
所属・職名：工学部海洋工学科・教授
受入教官：河野清
所属・職名：工学部・学部長，建設工学科・教授
用務：研究討論及び共同研究打ち合わせ
経費：フロリダアトランティック大学
5. 年月：平成7年7月
氏名：Craig. S. Hartley (クレイグ・S・ハートリー)
所属・職名：工学部・学部長
受入教官：河野清
所属・職名：工学部・学部長，建設工学科・教授
用務：文部省科学研究費国際学術研究(大学間協力研究)申請打ち合わせ
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
6. 年月：平成7年8月
氏名：Mark Blum (マーク・ブラム)
所属・職名：文学部言語学科
職名：日本語研究室長
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：日本語教育，留学生交換に関する打ち合わせ
経費：私費
7. 年月：平成9年10月
氏名：David M. Binninger (デイビッド・M・ビニンジャー)
所属・職名：理学部生物学科・助教授
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：電磁界の細胞活動への影響に関する研究
徳島大学工学部創立75周年記念式典，祝賀会に夫人と共に出席
経費：徳島大学国際教育研究交流資金

8. 年月：平成10年1月～2月
氏名：Perambur S. Neelakanta（ペランブル・S・ニーラカント）
所属・職名：工学部電気工学科・教授
氏名：Abhijit S. Pandya（アビジット・S・パンディア）
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科
受入教官：鈴木茂行
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論
経費：文部省科学研究費国際学術研究-大学間協力研究
9. 年月：平成10年3月
氏名：William B. Stronge（ウィリアム・B・ストロング）
所属・職名：国際プログラム室・室長，商学部経済学科・教授
受入教官：斎藤史郎
職名：学長
用務：学術交流協定更新調印，学生交流に関する覚書調印
経費：フロリダアトランティック大学
10. 年月：平成10年4月
氏名：John T. Jurewicz（ジョン・T・ユーレビッチ）
所属・職名：工学部・学部長
受入教官：森吉孝
所属・職名：工学部・学部長，化学応用工学科・教授
用務：流体流速のドップラ計測に関する研究，共同研究，留学生交換について討論
経費：徳島大学国際教育研究資金
11. 年月：平成11年2月
氏名：Raghavan Sudhakar（ラガヴァン・スダカー）
所属・職名：工学部電気工学科・教授
Abhijit S. Pandya（アビジット・S・パンディア）
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・助教授
受入教官：鈴木茂行
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論
経費：文部省科学研究費国際学術研究-大学間協力研究
12. 年月：平成11年7月
氏名：Vichate Ungvichian（ヴィチャテ・アングヴィチャン）
所属・職名：工学部電気工学科・教授
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：電磁界の生体影響に関する研究について討論
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
13. 年月：平成11年11月
氏名：John T. Jurewicz（ジョン・T・ユーレビッチ）
所属・職名：工学部・学部長
受入教官：斎藤史郎
職名：学長
用務：徳島大学創立50周年記念式典，祝賀会出席
式典においてフロリダアトランティック大学長 カタニーズ教授の祝辞を代読
経費：徳島大学
14. 年月：平成11年12月
氏名：Peter B. Szabo（ピーター・B・ザボ）
所属・職名：工学部電気工学科・助教授
受入教官：鈴木茂行
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究に関する討論
経費：文部省科学研究費基盤研究（B）（2）

15. 年月：平成12年7月
 氏名：魚スミ子
 所属・職名：文学部言語学科・講師
 受入教官：木内陽介
 所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
 用務：日本語教育，留学生交換について討論
 経費：私費
16. 年月：平成13年5月
 氏名：Anthony J. Catanese (アンソニー・J・カタニーズ)
 職名：学長
 William B. Stronge (ウィリアム・B・ストロング)
 所属・職名：国際交流室・室長，商学部経済学科・教授
 Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教官：斎藤史郎
 職名：学長
 用務：学術交流協定更新，学生交流に関する覚書更新調印
 経費：フロリダアトランティック大学
17. 年月：平成13年9月
 氏名：Sam C. Hsu (サム・C・シュー)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・助教授
 受入教官：木内陽介
 所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
 用務：医療診断への情報化技術の応用に関する研究討論
 経費：徳島大学国際教育研究交流資金
18. 年月：平成13年9月
 氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科
 受入教官：近藤正
 所属・職名：医療技術短期大学部一般教育・助教授
 用務：ニューラルネットワークスの理論開発とその医療科学への応用に関する研究討論
 経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金
19. 年月：平成14年6月
 氏名：大井均
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・講師
 受入教官：木内陽介
 所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
 用務：学術交流に関する討論
 経費：私費
20. 年月：平成15年5月
 氏名：Larry F. Lemanski (ラリー・F・レマンスキー)
 所属・職名：副学長（研究・大学院教育担当），理学部医用生体科学科・教授，
 受入教官：森本忠興
 所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科看護学専攻・教授，
 用務：心疾患診断及び治療に関する研究
 経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金
21. 年月：平成15年5月
 氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教官：木内陽介
 所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
 用務：ニューラルネットワークの医用生体工学への応用に関する研究討論
 経費：徳島大学国際教育研究交流資金

22. 年月：平成16年1月～2月
 氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教官：木内陽介
 所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
 用務：ニューラルネットワークの医用生体工学への応用に関する研究討論
 経費：フロリダアトランティック大学
23. 年月：平成17年5月27日～6月8日
 氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：国際プログラム室・室長，工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教員：永田俊彦
 所属・職名：留学生センター・センター長，歯学部・教授
 用務：学生の相互訪問に関する討論
 経費：徳島大学国際教育研究交流資金
24. 年月：平成17年5月28日～6月8日
 氏名：Marilyn E. Parker (マリリン・E・パーカー)
 所属・職名：看護学部・教授
 氏名：Rozzano C. Locsin (ロツツァーノ・C・ロクシン)
 所属・職名：看護学部・教授
 受入教員：前澤博
 所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科放射線技術科学専攻・教授
 用務：学生の相互訪問，共同研究に関する討論
 経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金
25. 年月：平成18年3月1日～10日
 氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教員：矢野米雄
 所属・職名：工学部・学部長，知能情報工学科・教授
 用務：国際連携大学院教育に関する討論
 経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業
26. 年月：平成19年3月12日～18日
 氏名：Ali A. Zilouchian (アリ・ジローチャン)
 所属・職名：工学・コンピュータ科学部学部長補佐，コンピュータ理工学科・教授
 Zvi Roth (ツヴィ・ロス)
 所属・職名：工学・コンピュータ科学部電気工学科・教授
 Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
 所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教員：矢野米雄
 所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部・研究部長，情報ソリューション部門・教授
 用務：国際連携大学院教育に関する討論
 経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業
27. 年月：平成19年6月6日
 氏名：Rozzano C. Locsin (ロツツァーノ・C・ロクシン)
 所属・職名：看護学部・教授
 受入教員：谷岡哲也
 所属・職名：医学部保健学科看護学専攻・准教授
 用務：看護学に関する共同研究討論
28. 年月：平成19年8月5日～13日
 氏名：Ali A. Danesh (アリ・A・ダネッシュ)
 所属・職名：教育学部コミュニケーション学科・准教授，聴覚診療施設長
 受入教員：長篠博文
 所属・職名：医学部保健学科・学科長，同学科放射線技術科学専攻・教授
 用務：耳鳴りの音治療のためのニューラルネットワークモデルに関する共同研究討論
 経費：藤井・大塚国際教育研究交流資金

29. 年月：平成20年1月6日～8日
 氏名：柴田芳実
 所属・職名：生体医科学部基礎科学科・准教授
 受入教員：曾根三郎
 所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・研究部長，医療創生科学部門先端医療創生科学講座呼吸器・膠原病内科学分野・教授
 用務：共同研究に関する打合せ
30. 年月：平成20年8月（3日間）
 氏名：Yan Yong（ヤン・ヨン）
 所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木環境地球数学科・教授
 受入教員：福井万寿夫
 所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部・研究部長，工学部長，先進物質材料部門知的材料システム講座・教授
 用務：第3回国際連携大学院教育サマースクールでの講義
 経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業
31. 年月：平成20年11月24日～27日
 氏名：Mohammad Ilyas（モハマド・イリアス）
 所属・職名：工学・コンピュータ科学部学部長補佐，コンピュータ理工学科・教授
 受入教員：福井万寿夫
 所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部・研究部長，工学部長，先進物質材料部門知的材料システム講座・教授
 用務：第3回国際連携大学院教育に関するシンポジウム出席
 経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業
32. 年月：平成21年3月2日～8日
 氏名：Abhijit S. Pandya（アビジット・S・パンディヤ）
 所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
 受入教員：木内陽介
 所属・職名：大学院ソシオテクノサイエンス研究部ライフシステム部門生命機能工学講座，工学部電気電子工学科・教授
 用務：International Symposium on Biomedical Engineering and Related Technologies – Symposium Honoring Dr. Kinouchi – 及び木内教授定年ご退職記念祝賀会出席
33. 年月：平成21年3月28日～4月1日
 氏名：Ramaswamy Narayanan（ラマスワミー・ナラヤナン）
 所属・職名：理学部化学・生化学科・学科長，教授
 受入教員：近藤和也
 所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座臨床腫瘍医療学分野，医学部保健学科看護学専攻・教授
 用務：癌の遺伝子治療に関する共同研究討論
34. 年月：平成21年6月24日～25日
 氏名：魚スミ子
 所属・職名：文学部言語学科・非常勤講師
 受入教官：長篠博文
 所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座医用電子情報システム学分野，医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授
 用務：私的日本語受講生（高校生）の日本研修旅行の一部としての本学授業・課外活動などの見学，及びFAU留学計画中の本学学生との懇談における情報交換・助言提供
 経費：私費
35. 年月：平成21年12月13日～16日
 氏名：Catherine S. Meschievitz（キャサリン・S・メシーヴィッツ）
 所属・職名：国際プログラム室・室長
 受入教員：大西徳生
 所属・職名：国際連携教育開発センター・センター長，大学院ソシオテクノサイエンス研究部・研究部長，工学部長，エネルギーシステム部門エネルギー変換工学講座・教授
 用務：第4回国際連携大学院教育に関するシンポジウム出席

経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業

36. 年月：平成 21 年 12 月 13 日～20 日

氏名：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ工学電気工学コンピュータ科学科・教授

受入教員：大西徳生

所属・職名：国際連携教育開発センター・センター長，大学院ソシオテクノサイエンス研究部・
研究部長，工学部長，エネルギーシステム部門エネルギー変換工学講座・教授

木内陽介

所属・職名：工学部長補佐・客員教授

長篠博文

所属・職名：大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門医用情報科学講座医用電子情報
システム学分野，医学部保健学科放射線技術科学専攻・教授

用務：第 4 回国際連携大学院教育に関するシンポジウム出席，共同研究打ち合わせ

経費：文部科学省戦略的国際連携支援事業

事務職員の訪問実績

2-1 本学事務職員のフロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 派遣実績

1. 年月：平成 16 年 4 月 4 日～10 日
氏名：藤井修治
所属・職名：研究協力部国際企画課・課長
氏名：谷昭二
所属・職名：財務部経理課・専門職員
受入教員：Jaime Ortiz (ハイメ・オルティス)
所属・職名：国際プログラム室・室長, 商学部経済学科・教授
職名：室長
用務：米国大学における自主独立経営及び国際的教育・研究支援組織の運営体制調査
経費：文部科学省平成 15 年度新世紀国際教育交流プロジェクト学者・専門家等派遣プログラム
2. 年月：平成 16 年 1 月 17 日～2 月 17 日
氏名：大森理佐
所属：研究協力部国際企画課第一国際研究企画係
職名：係員
受入教員：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
所属：国際プログラム室・室長, 工学部コンピュータ理工学科・教授
職名：室長
用務：国際的教育・研究支援研修
経費：文部科学省事務職員派遣プログラム
3. 年月：平成 17 年 12 月 11～14 日
氏名：村澤普恵
所属・職名：医学部・学部長補佐 (国際関係担当)
氏名：芳崎隆夫
所属・職名：医学・歯学・薬学部等事務部学務課・課長
受入教員：Frank Brogan (フランク・ブログン)
所属・職名：学長
用務：利益相反, 学務制度に関する情報収集
経費：医学部長裁量経費
4. 年月：平成 18 年 3 月 13～20 日
氏名：藤本史子
所属・職名：総務部人事課人事第二係
氏名：江上真人
所属・職名：研究協力部研究協力課産学連携係
受入教員：Catherine Meschievitz (キャサリン・メシーヴィッツ)
所属・職名：国際プログラム室・室長
用務：徳島大学事務職員語学・実務研修に関する調査, 産学連携・利益相反に関する調査
経費：学長裁量経費
5. 年月：平成 18 年 9 月 5～12 月 2 日
氏名：山口百合
所属・職名：財務部蔵本会計事務センター室第一調達係
受入教員：Catherine Meschievitz (キャサリン・メシーヴィッツ)
所属・職名：国際プログラム室・室長
用務：語学研修及び実務研修
経費：学長裁量経費

3. 学生の訪問実績

3-1 本学学生のフロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 派遣実績

1. 年月：平成2年3月
氏名：吉田昭(1)，福永誠二(2)，堀川清弘(2)，木内英樹(3)，吉成鎮広(3)
所属：(1) 大学院工学研究科修士課程電気工学専攻2年次
(2) 大学院工学研究科修士課程電気工学専攻1年次
(3) 工学部電気工学科4年次
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システムセンター・センター長，理学部心理学科・教授
目的：施設見学
経費：私費
2. 年月：平成8年7月～10月
氏名：芥川正武
所属：大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻3年次
受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・助教授
目的：ニューラルネットワークに関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
3. 年月：平成10年6月
氏名：朴基豪
所属：大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻2年次
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システム・脳科学センター・センター長，理学部心理学科・教授
目的：文部省科学研究費国際学術研究(大学間協力研究)「新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究」のために訪問した医学部医学科山口久雄助教授に同行
経費：私費
4. 年月：平成10年9月～平成11年2月
氏名：福井康広
所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻2年次
受入教官：Vichate Ungvichian (ヴィチャト・アングヴィチアン)
所属・職名：工学部電気工学科・教授
目的：電磁界の測定に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
5. 年月：平成10年10月～平成11年8月
氏名：朴基豪
所属：大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻2年次
受入教官：J. A. Narayanan (J・A・ナラヤナン)
所属・職名：大学理学部生物学科・教授
目的：細胞増殖に対する磁界の影響に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
6. 年月：平成10年12月
氏名：大山真理子
所属：大学院工学研究科博士前期課程機械工学専攻1年次
受入教官：J. A. Scott Kelso (J・A・スコット・ケルソー)
所属・職名：複合システム・脳科学センター・センター長，理学部心理学科・教授
目的：文部省科学研究費国際学術研究(大学間協力研究)「新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究」のために訪問した工学部機械工学科村上理一教授に同行
経費：私費
7. 年月：平成11年7月～平成12年5月

氏名：田向健吾
所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻1年次
受入教官：Ravi Shankar (ラヴィ・シャンカー)
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
目的：LSI の設計に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金

8. 年月：平成11年10月
氏名：平尾友二
所属：大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻3年次
受入教官：Ravi Shankar (ラヴィ・シャンカー)
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授
目的：LSI の設計に関する研究討論
経費：私費
9. 年月：平成12年6月～平成13年2月
氏名：森藤千晶
所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻2年次
受入教官：Nurgun Erdol (ナーガン・アードル)
所属・職名：工学部電気工学科・助教授
目的：信号処理に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
10. 年月：平成13年7月～平成14年1月
氏名：中野芳子
所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻2年次
受入教官：大井均
所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・講師
目的：電磁界解析ソフトウェア作成に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
11. 年月：平成15年6月～平成16年4月
氏名：中屋敷慎太郎
所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻2年次
受入教官：Zvi Roth (ズヴィ・ロス)
所属・職名：工学部電気工学科・教授
目的：電子回路の設計に関する研究
経費：私費
12. 年月：平成15年8月～平成16年3月
氏名：森江健蔵
所属：大学院工学研究科博士前期課程光応用工学専攻2年次
受入教官：Charles E. Carraher Jr. (チャールズ・E・カラハー・Jr.)
所属・職名：理学部化学生物化学科・教授
目的：高分子の合成に関する研究
経費：文部科学省短期留学推進制度
13. 年月：平成15年9月～平成16年9月
氏名：笹川齊宏
所属：大学院工学研究科博士前期エコシステム工学専攻2年次
受入教官：Leonald Berry (レオナルド・ベリー)
所属・職名：環境研究センター・教授
目的：水域における参加型環境教育プログラムの開発に関する研究
経費：文部科学省短期留学推進制度
14. 年月：平成16年3月～4月(8日間)
氏名：小磯裕子, 酒井祐香利, 谷川あゆみ, 前田千絵, 山田真理子, 山下祐美子, 計6名
所属：医学部保健学科看護学専攻2年次
受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

目的：看護学研修

経費：私費

15. 年月：平成 16 年 8 月～平成 17 年 7 月

氏名：野田昭子

所属：大学院工学研究科博士後期課程情報システム工学専攻 2 年次

受入教官：David C. Prosperi (デイヴィッド・C・プロスペリ)

所属・職名：都市公共学部都市・地域計画学科・教授

目的：都市計画に関する研究

経費：徳島大学国際教育研究交流資金

16. 年月：平成 17 年 3 月（8 日間）

氏名：黒川奈美，林あゆみ，計 2 名

所属：医学部保健学科看護学専攻 2 年次

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

目的：看護学研修

経費：私費

17. 年月：平成 17 年 8 月～平成 18 年 7 月

氏名：蘆田雄樹

所属：大学院工学研究科博士前期課程光応用工学専攻 2 年次

受入教官：Charles E. Carraher Jr. (チャールズ・E・カラハー・Jr)

所属・職名：理学部化学・生物化学科・教授

目的：高分子の合成に関する研究

経費：徳島大学国際教育研究交流資金

18. 年月：平成 17 年 10 月～平成 18 年 1 月

氏名：森本亜里砂

所属：大学院工学研究科博士前期課程電気電子工学専攻 2 年次

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学部コンピュータ理工学科・教授

目的：医用生体工学に関する研究

経費：私費

19. 年月：平成 18 年 3 月（8 日間）

氏名：鋸本苗保(1)，守本麻紀(1)，磯野安理沙(2)，佐々木亮輔(2)，中村淳子(2)，三並優(2)
山住哲也(2)，玉山千帆(3)，計 8 名

所属：(1) 医学部保健学科看護学専攻 3 年次

(2) 医学部保健学科看護学専攻 2 年次

(3) 医学部保健学科看護学専攻 1 年次

受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)

所属・職名：看護学部・学部長，教授

目的：看護学研修

経費：私費

20. 年月：平成 18 年 3 月（4 日間）

氏名：関原和正，1 名

所属：医学部保健学科放射線技術科学専攻 3 年次

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

目的：放射線技術科学研究

経費：私費

21. 年月：平成 18 年 6 月～平成 18 年 12 月

氏名：新田佳伯

所属：大学院工学研究科博士後期課程機能システム工学専攻 2 年次

受入教官：Abhijit S. Pandya (A・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授
目的：医用生体工学に関する研究
経費：文部科学省短期留学推進制度

22. 年月：平成 19 年 2 月～平成 20 年 2 月
氏名：常見徹
所属：大学院先端技術科学教育部博士前期課程機械工学専攻 1 年次
受入教官：Khaled Sobhan (K・ソバン)
所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木工学科・准教授
目的：材料工学に関する研究
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
23. 年月：平成 19 年 3 月（8 日間）
氏名：大坂京子(1)，川村亜以(2)，黒川奈美(2)，石本裕賀(3)，下垣内愛(3)，三好真佐美(3)
計 6 名
所属：(1) 工学研究科博士後期課程情報システム工学専攻 3 年次
(2) 医学部保健学科看護学専攻 4 年次
(3) 医学部保健学科看護学専攻 2 年次
受入教官：Anne Boykin (アン・ボイキン)
所属・職名：看護学部・学部長，教授
目的：看護学研修
経費：私費，藤井・大塚国際教育研究交流資金
24. 年月：平成 19 年 3 月（4 日間）
氏名：関原和正(1)，木嶋健太(2)，計 2 名
所属：(1) 医学部保健学科放射線技術科学専攻 4 年次
(2) 医学部保健学科放射線技術科学専攻 3 年次
受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)
所属・職名：国際プログラム室・室長
目的：放射線技術科学研修
経費：私費，藤井・大塚国際教育研究交流資金
25. 年月：平成 19 年 8 月～平成 20 年 3 月
氏名：濱口肇子
所属：大学院先端技術科学教育部博士前期課程化学応用工学専攻 1 年次
受入教官：Daniel Meeroff (D・ミーロフ)
所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木工学科・助教
目的：環境工学に関する研究
経費：文部科学省短期留学推進制度
26. 年月：平成 20 年 2 月～平成 20 年 5 月
氏名：橋本青空
所属：総合科学部人間・社会学科 2 年次
受入教官：Carol Mullings (キャロル・マリングズ)
所属・職名：英語集中教育施設・施設長
目的：英語研修
経費：徳島大学国際教育研究交流資金
27. 年月：平成 20 年 3 月（4 日間）
氏名：熊本憲吾
所属：医学部保健学科放射線技術科学専攻 3 年次
受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)
所属・職名：国際プログラム室・室長
目的：放射線技術科学研修
経費：私費，藤井・大塚国際教育研究交流資金
28. 年月：平成 21 年 8 月～10 月
氏名：松田敏和
所属：大学院先端技術科学教育部博士前期課程知的力学システム工学専攻 1 年次

受入教官：Yan Yong (Y・ヨン)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木環境地球工学科・教授

目的：土壌と建造物の相互作用に関する研究及び国際先端技術科学特論2履修

経費：国際連携大学院経費

29. 年月：平成21年1月～平成21年5月

氏名：橋本青空

所属：総合科学部人間・社会学科3年次

受入教官：Manjunath Pendakur (マンジュナト・ペンダクール)

所属・職名：人文学部・学部長，教授

目的：英語・異文化コミュニケーションに関する科目履修

経費：徳島大学国際教育研究交流資金

30. 年月：平成21年3月(4日間)

氏名：淵村有紀，松元育美，計2名

所属：医学部保健学科放射線技術科学専攻3年次

受入教官：Catherine S. Meschievitz (キャサリン・S・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

目的：放射線技術科学研修

経費：私費，藤井・大塚国際教育研究交流資金

31. 年月：平成21年8月～10月

氏名：井上貴文

所属：大学院先端技術科学教育部博士前期課程知的力学システム工学専攻1年次

受入教官：Yan Yong (ヤン・ヨン)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部土木環境地球工学科・教授

目的：土壌と建造物の相互作用に関する研究及び国際先端技術科学特論2履修

経費：国際連携大学院経費

32. 年月：平成21年9月～平成22年3月

氏名：鈴木安里

所属：大学院先端技術科学教育部博士前期課程システム創生工学専攻2年次

受入教官：Abhijit S. Pandya (アビジット・S・パンディア)

所属・職名：工学・コンピュータ科学部コンピュータ理工学科・教授

目的：医用生体工学に関する研究

経費：私費

33. 年月：平成22年3月(5日間)

氏名：片山美祐樹，小林貴喜，住吉友美，田邊円花，計4名

所属：医学部保健学科放射線技術科学専攻3年次

受入教官：Catherine Meschievitz (キャサリン・メシーヴィッツ)

所属・職名：国際プログラム室・室長

目的：放射線技術科学研修

経費：私費

3-2 フロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 学生の本学受入れ実績

1. 年月：平成4年6月
氏名：Tom Holroyd (トム・ホルロイド)
所属：大学院理学研究科複合システム・脳科学専攻博士後期課程3年次
恵子 Holroyd (けいこ・ホルロイド)
所属：理学部数学科2年次
受入教官：木内陽介
所属・職名：工学部電気電子工学科・教授
用務：バイオサイバネティクスに関する研究討論
経費：私費
2. 年月：平成17年4月～平成18年3月
氏名：Elcid J. Betancourt (エルシド・J・ベタンコート)
所属：2年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
3. 年月：平成17年4月～平成18年3月
氏名：David M. Vazquez (デイビッド・M・ヴァスクエス)
所属：2年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
4. 年月：平成17年4月～平成18年3月
氏名：Maureen A. Hawlik (モーリン・A・ホーリック)
所属：1年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
5. 年月：平成18年4月～平成19年3月
氏名：Benjamin Suutari (ベンジャミン・スータリ)
所属：2年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
6. 年月：平成18年4月～平成20年3月
氏名：Victoria Bloyer (ヴィクトリア・ブロイア)
所属：2年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
7. 年月：平成19年10月～平成20年3月
氏名：Douglas Magaletti (ダグラス・マガレッティ)
所属：4年次
受入：総合科学部
資格：特別聴講生
経費：私費
8. 年月：平成19年10月～平成22年3月
氏名：Daniel Lynch (ダニエル・リンチ)
所属：2年次
受入：総合科学部

資格：特別聴講生
経費：私費

9. 年月：平成 20 年 4 月～平成 24 年 3 月（予定）
氏名：Victoria Bloyer（ヴィクトリア・ブロイア）
所属：4 年次
受入：総合科学部
資格：正規学生
経費：私費

4-1 本学学位取得者のフロリダアトランティック大学 (Florida Atlantic University) 滞在実績

1. 年月：平成 20 年 5 月～平成 22 年 7 月（予定）

氏名：小木曾真理

出身：大学院栄養生命科学教育部博士後期課程栄養生命科学専攻

受入教官：柴田芳美

所属・職名：生体医科学部基礎科学科・教授

用務：共同研究

経費：フロリダアトランティック大学

本学教員とフロリダアトランティック大学教員の共同研究業績

1. 著書

- 1) Anne Boykin and Savina O. Schoenhofer著, 多田敏子・谷岡哲也監訳: ケアリングとしての看護 - 新しい実践のためのモデル -, 西日本法規出版, 2005年3月. 原著: *Nursing as caring, a model for transforming practice*, Jones and Bartlet Publishers Inc., Sudbury, USA, 2001.
- 2) Rozzano C. Locsin著, 谷岡哲也他監訳, ふくろう出版, 2009年4月. 原著: *Technological Competency As Caring in Nursing: A Model For Practice*, Sigma Theta Tau Intl, Indianapolis, USA, 2005.

2. 書籍の一部執筆

- 1) A. Campling, T. Tanioka and R. C. Locsin: Robots and Nursing Systems: Concepts, Relationships, and Practice. *In, Technology and Nursing: Practie, Process, and Issues*. A. Barnard and R. C. Locsin, 240Pages, Palgrave-Macmillan, Co., Ltd., UK. May 2007.

3. 審査論文

- 1) Hirofumi Nagashino and J. A. Scott Kelso: Bifurcation of oscillatory solutions in a neural oscillator network model for phase transition, *Proceedings of the Second Symposium on Nonlinear Theory and Its Application*, Vol. 1, pp. 119-122, 1991.
- 2) Hirofumi Nagashino and J. A. Scott Kelso: Phase transitions in oscillatory neural networks, *SPIE Proceedings, Science of Artificial neural networks*, Vol. 1710, pp. 279-287, 1992.
- 3) Hirofumi Nagashino, Hidenori Yamamoto, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Analysis of feature extraction by imverse mapping and Alopex algorithm, *Proceedings of 1994 IEEE International Conference on Neural Networks*, Vol. 4, pp. 2407-2410, 1994.
- 4) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya and J. M. Zurada: GMDH-type Neural Networks with a Feedback Loop and their Application to Nonlinear System Identification, *Intelligent Engineering System through Artificial Neural Networks, ASME Press*, Vol.9, pp. 117~124, 1999.
- 5) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya and J. M. Zurada: Logistic GMDH-type Neural Networks and their Application to the Identification of the X-ray Film Characteristic Curves, *Proceedings of IEEE International Conference on Systems, Man and Cybernetics*, Vol. 1, pp. 437-442, 1999.
- 6) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya and J. M. Zurada: GMDH-type Neural Networks and their Application to the Medical Image Recognition of the Lungs, *Proceedings of 38th SICE Annual Conference International Session Papers*, pp. 1181-1186, 1999.
- 7) Abhijit S. Pandya, Tadashi Kondo, T. U. Shah, and V. R. Gandhi: Prediction of Stock Market Characteristics Using Neural Networks, *Proceedings of SPIE Conference on Application and Science of Computational Intelligence II*, pp. 1101-1109, Orland, 1999.
- 8) Qinyu Zhang, Youssouf Cisse, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi and Abhijit S. Pandya: Identification of biological sources by neural networks, *Proceedings of 1999 Third International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems*, Vol. 1, pp. 550-552, 1999.
- 9) Abhijit S. Pandya, Tadashi Kondo, A. Talati, S. Jayadevappa: Foreign currency rate forecasting using neural networks, *Proceedings of SPIE Conference on Applications and Science of Computational Intelligence III*, Vol.4055, pp. 392-400, 2000.
- 10) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: GMDH-type Neural networks using the Radial Basis Function and their Application to the Medical Image Recognition of the Brain, *Proceeding of the 39th SICE Annual Conference International Session Papers*, 313A-2, pp. 1-6, 2000.
- 11) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: GMDH-type Neural Networks with a Feedback Loop and their Application to the Identification of the Large-spatial Air Pollution Pattern, *Proceeding of the 39th SICE Annual Conference International Session Papers*, 112A-4, pp. 1-6, 2000.
- 12) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya and T. Gilbar: Structural identification of the multi-layered neural networks by using GMDH-type neural network algorithm, *Knowledge-based intelligent information engineering systems and allied technologies*, pp. 89-94, 2001.

- 13) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Medical image recognition by using GMDH-type neural networks with sigmoid functions, *Proceedings of the international technical conference on circuits and systems, computers and communications*, Vol. 2, pp. 1118-1121, 2001.
- 14) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Medical image recognition by using logistic GMDH-type neural networks, *Proceedings of the 40th SICE annual conference, international session papers*, 313A-2, pp. 1-6, 2001.
- 15) Sandeep Mehta, Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: GMDH Algorithms for Modeling Systems in Noisy Environment, *The 6th World Multiconference on Systems, Cybernetics and Informatics (SCI2002)*, Orland, Florida, USA, pp. 14-18, July 2002.
- 16) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya: Revised GMDH-type neural networks with a feedback loop and their application to the medical image recognition, *Proceeding of the 9th International Conference on Neural Information Processing*, No. 1415, pp. 1-6, August 2002.
- 17) Tadashi Kondo, Abhijit S. Pandya and Thomas Gilbar: GMDH-type Neural Network Algorithm with Sigmoid Functions, *International Journal of Knowledge-Based Intelligent Engineering Systems*, Vol. 7, No. 4, pp. 198-205, 2003.
- 18) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Modeling of X-ray CT Image by using Revised GMDH-type Neural Networks with Sigmoid Functions, *Proc. of 2003 IEEE International Symposium on Computational Intelligence in Robotics and Automation (CIRA2003)*, pp. 1180-1185, July 2003.
- 19) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Recognition of X-ray CT images by using revised GMDH-type neural networks, *Knowledge-based intelligent information engineering systems and allied technologies (KES2003)*, pp. 849-855, September 2003.
- 20) Ali A. Danesh, Yohsuke Kinouchi, Deena L. Wener and Abhijit S. Pandya: Functional imaging of tinnitus: Seeing of the unseeable!, in *V. Palade, R. J. Howlett and L. C. Jain Eds., Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, Proceedings of 7th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems, Part II*, pp. 794-799, 2003.
- 21) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Identification of the Radial Basis Function Networks by using the Multi-layered GMDH-type Neural Network Algorithm, *Intelligent Engineering System through Artificial Neural Networks*, Vol.14, pp. 131-136, 2004.
- 22) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Medical Image Recognition by using the Multi-layered GMDH-type Neural Networks with the Radial Basis Function, *Intelligent Engineering System through Artificial Neural Networks*, Vol.14, pp. 785-790, 2004.
- 23) Tadashi Kondo and Abhijit S. Pandya: Identification of the Multi-layered Neural Networks by Revised GMDH-type Neural Network Algorithm with PSS Criterion, *Knowledge-based intelligent information engineering systems and allied technologies*, pp.1051-1059, 2004.
- 24) Bhairavi Pandya, Akiko Noda and David C. Prospero: Interactive GIS-based planning support systems: experiences from Florida, *Proceedings of International Conference on Computers in Urban Planning and Urban Management*, London, United Kingdom, June 29-July 1, 2005, Paper 313:1-12.
- 25) Rozzano C. Locsin, Tetsuya Tanioka and Chiemi Kawanishi: Anthropomorphic Machines and the Practice of Nursing: Knowing Persons as Whole in the Moment, *Proceedings of 2005 IEEE International Conference on Natural Language Processing and Knowledge Engineering (IEEE NLP-KE'05)*, pp. 825-829, Wuhan, China, Oct. 2005.
- 26) Kyoko Osaka, Shin-ichi Chiba, Tetsuya Tanioka, Chiemi Kawanishi, Isao Nagamine, Fuji Ren, Shingo Kuroiwa, Toshiko Tada, Ruriko Yamashita, Mayuko Kishimoto, Mika Nishimura, Ai Yamamoto, Rozzano C. Locsin and Yoichiro Takasaka: Estimating Emotion Changes Using Electroencephalographic Activities and its Clinical Application, *Proceedings of 2005 IEEE International Conference on Natural Language Processing and Knowledge Engineering (IEEE NLP-KE'05)*, pp. 830-834, Wuhan, China, Oct. 2005.
- 27) Tetsuya Tanioka, Chiemi Kawanishi, Toshiko Tada, Chiemi Onishi, Rozzano C. Locsin, Fuji Ren, Kyoko Osaka: Relationship between “emotional sensitivity” as technological competency and caring: development of the sensibility estimation technique using EEG, *International Journal for Human Caring*, Special Issue, Vol. 10, No. 2, p. 63, Perth, Australia June 2006.
- 28) Rozzano C. Locsin, Alan Barnard, Tetsuya Tanioka, Aric Campling: Appreciating Caring through Technological Competency: Nursing Practice in a Technological World, *International Journal for Human Caring*, Special Issue, Vol. 10, No. 2, p. 46, Perth, Australia, June 2006.
- 29) Chiemi Kawanishi, Tetsuya Tanioka, Toshiko Tada, Fuji Ren, Kyoko Osaka, Kazuyuki Matsumoto, Shunji Mitsuyoshi, Locsin C Rozzano and Shu-ichi Ueno: Consideration of Measuring Method for Empathic

Understanding as Technological Competency of Nursing, Proceedings of The Fourth International Conference on Information and The Fourth Irish Conference on the Mathematical Foundations of Computer Science and Information Technology, pp.68-72, Cork, Ireland, Aug. 2006.

- 30) Kyoko Osaka, Kazuyuki Matumoto, Chiemi Kawanishi, Tetsuya Tanioka, Toshiko Tada, Shuichi Ueno, Rozzano C. Locsin and Fuji Ren: Required precision to natural language processing for therapeutic patient-health care provider communication, The IASTED International Conference on Intelligent, Systems and Control (ISC 2006), Honolulu, Hawaii, USA, pp.118-123, August 14-16, 2006.
- 31) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Oscillation and Its Inhibition in a Neural Oscillator Model for Tinnitus, Proceedings of World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Vol.1, pp.133-136, Seoul, Aug. 2006.
- 32) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Analysis of a Neural Oscillator Model With Plasticity for Treatment of Tinnitus, Proceedings of World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Vol.14, pp.3413-3416, Seoul, Aug. 2006.
- 33) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Oscillation and Its Inhibition in a Neural Oscillator Model for Tinnitus, Proceedings of the 28th IEEE-EMBS Annual International Conference, pp.5547-5550, New York, Aug. 2006.
- 34) Tadashi Kondo, Junji Ueno and Abhijit. S. Pandya: Multilayered GMDH-type neural network with radial Basis functions and its application to 3-dimensional medical image recognition of the liver, *Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics*, Vol. 11, No. 1, pp. 96-104, 2007.
- 35) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A Plastic Neural Network Model for Sound Therapy of Tinnitus, *IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering*, Vol. 2, No. 4, pp. 488-490, 2007.
- 36) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Inhibition of oscillation in a plastic neural network model using noise stimulus, *Proceedings of the 11th World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics, Orlando, USA, July 2007*, Vol. IV, pp. 108-112, 2007.
- 37) Tadashi Kondo, Abhijit. S. Pandya and Hirofumi Nagashino: GMDH-type neural network algorithm with a feedback loop for structural identification of RBF neural network, *International Journal of Knowledge-based and Intelligent Engineering Systems*, Vol. 11, No. 3, pp. 157-168, 2007.
- 38) Tetsuya Tanioka, Ai Kawamura, Kazuyuki Matsumoto, Kazushi Mifune, Yoichiro Takasaka, Takuya Matsuda, Kyoko Osaka, Shuichi Ueno, Rozzano C. Locsin, Mutsuko Kataoka, Shuichi Ueno, Takuya Matsuda, Ren Fuji, Toshiko Tada: Outcome Management and Morphologic Variance Analysis Using Psychoms™ for Patient Care in Psychiatric Hospitals, *IEEE NLP-KE2007*, pp.502-506, Beijing, China, Aug. 2007.
- 39) Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka, Rozzano C. Locsin, Shu-ichi Ueno, Matsumoto Kazuyuki, Chiemi Kawanishi, Shingo Kuroiwa, Seiji Tsuchiya and Fuji Ren: Electroencephalograph Estimation Method of Measuring 'Empathic Understanding', *IEEE NLP-KE2007*, pp.514-519, Beijing, China, Aug. 2007.
- 40) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya : Dynamical properties of a plastic neural network model for tinnitus therapy and inhibition of oscillation using noise stimulus, *Proceedings of the 29th Annual International Conference of the IEEE-EMBS, Lyon, France, August 23-26, 2007*, pp. 2408-2411, 2007.
- 41) Makiko Yamashita, Tsutomu Shinohara, Ruth Ann Henriksen, Shoutaro Tsuji, Quentin N. Myrvik, Akihito Nishiyama, Yoshimi Shibata: Catalytically inactive cyclooxygenase 2 (COX-2) and lack of PGE₂ biosynthesis induced by murine peritoneal macrophages during phagocytosis of heat-killed *Mycobacterium bovis* BCG *in vivo*, *J. Immunology*, Vol. 179, No. 10, pp. 7072-7078, 2007.
- 42) Shoutaro Tsuji, Makiko Yamashita, Akihito Nishiyama, Tsutomu Shinohara, Zhongwei Li, Donald R. Hoffman, Ruth Ann Henriksen, Quentin N. Myrvik, Yoshimi Shibata: Differential structure and activity between human and mouse intelectin-1: human intelectin-1 is a disulfide-linked trimer, whereas mouse homologue is a monomer, *Glycobiology*, Vol. 17, No. 10, pp. 1045-1051, 2007.
- 43) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Optimization of MLP/BP for character recognition using a modified alopex algorithm, *International Journal of Knowledge-based and Intelligent Engineering Systems*, Vol. 11, No. 6, pp. 371-379, 2007.
- 44) Yoshihiro Kai, Naoki Fujii, Tetsuya Tanioka, Kenichi Sugawara and Rozzano C. Locsin: A walking support machine with mechanical devices to prevent patient's falling and relieve patient's weight, *Information*, Vol. 10, No. 5, pp. 655-662, September 2007
- 45) Kyoko Osaka, Seiji Tsuchiya, Fuji Ren, Shingo Kuroiwa, Tetsuya Tanioka and Rozzano C. Locsin: The technique

of emotion recognition based on electroencephalogram, *Information*, Vol. 11, No. 1, January 2008.

- 46) Yoshinori Nitta, Masatake Akutagawa, Toshiya Okahisa, Hiroshi Miyamoto, Yoshiaki Ohnishi, Shun'ya Nakane, Ryuji Kaji, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Analysis of hematocrit value during the plasma exchange, *Proceedings of the International Symposium on Biological and Physiological Engineering/The 22nd SICE Symposium on Biological and Physiological Engineering, Harbin, China, January 13-14, 2008*, pp. 278-279, 2008.
- 47) Hirofumi Nagashino, Ken'ichi Fujimoto, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh, Abhijit S. Pandya and Jufang He: Oscillation and its inhibition in a neuronal network model for tinnitus sound therapy, *Proceedings of the 30th Annual International Conference of the IEEE-EMBS, Vancouver, Canada, August 20-24, 2008*, pp. 311-314, 2008.
- 48) A. Nishiyama, T. Shinohara, T. Pantuso, S. Tsuji, M. Yamashita, Q. N. Myrvik, R. A. Henriksen, Y. Shibata: Depletion of cellular cholesterol enhances macrophage MAPK activation by chitin microparticles but not by heat-killed Mycobacterium bovis BCG, *Am J Physiol Cell Physiol*, Vol. 295, pp. 341-349, 2008.
- 49) Ai Kawamura, Tetsuya Tanioka, Kyoko Osaka, Kenichi Mishina, Toshiko Tada, Rozzano C. Locsin, Chiemi Kawanishi, Eva Tornvall: Nursing Management in Psychiatric Hospitals Utilizing Psychoms™; Clinical Pathways to Outcomes Management of Discharge for Long-term Care Patients' Discharge, *Proceedings of 1st BIMP International Nursing Conference, Davao, the Philippines, October 8-9, 2008*, pp. 79-87, 2008.
- 50) Tetsuya Tanioka, Alan Barnard, Rozzano C. Locsin, Kyoko Osaka, Chiho Tamayama, Kana Kikugawa, Chiemi Kawanishi, Toshiko Tada: The development of artificial intelligence based on caring science for humanoid Caring Robots, *Proceedings of 1st BIMP International Nursing Conference, Davao, the Philippines, October 8-9, 2008*, pp. 156-163, 2008.
- 51) T. Shinohara, M. Yamashita, T. Pantuso, M. Kogiso, S. Shinohara, Q. N. Myrvik, R. A. Henriksen, Y. Shibata: Persistent inactivation of macrophage cyclooxygenase-2 in mycobacterial pulmonary inflammation, *Am J Resp Cell Mole Biol*, Vol. 42, pp. 146-154, 2009. A full pre-print is available: <http://ajrcmb.atsjournals.org/cgi/reprint/2008-0230OCv1>.
- 52) Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Comparison of neuronal network models for tinnitus management by sound therapy, *Proceedings of the 31st Annual International Conference of the IEEE-EMBS, Minneapolis, USA, September 2-6, 2009*, pp. 2197-2200, 2009.
- 53) Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A neuronal network model with plasticity for tinnitus management by sound therapy, *Proceedings of World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering, Munich, Germany, September 7-12, 2009*, Vol. 25/IX, pp. 76-79, 2009.
- 54) S. Tsuji, M. Yamashita, D. R. Hoffman, A. Nishiyama, T. Shinohara, T. Ohtsu, and Y. Shibata: Capture of heat-killed Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guerin by intelectin-1 deposited on cell surfaces. *Glycobiology*, Vol. 19, pp. 518-526, 2009.

4. 総説・解説

- 1) Chiemi Kawanishi, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka, Rozzano C. Locsin, Toshiko Tada, Shu-ichi Ueno, Fuji Ren, Kazuyuki Matumoto and Shunji Mituyoshi: Establishing Methods and Analytical Examples for Empathic Understanding As Technological Competency in Nursing, *Journal of Information*, Vol.10, No.2, 253-262, 2007.
- 2) Hirofumi Nagashino, Ken'ichi Fujimoto, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh, Abhijit S. Pandya and Jufang He: Computational modeling for tinnitus and its management by sound therapy, *Proceedings of International Symposium on Biomedical Engineering and Related Technologies, Tokushima, Japan, March 7, 2009*, pp. 11-16, 2009.
- 3) Abhijit S. Pandya, Yoshinori Nitta, Yohsuke Kinouchi and Mirjana Pavlovic: Intelligent systems for prediction of Hematocrit value during blood transfusion, *Proceedings of International Symposium on Biomedical Engineering and Related Technologies, Tokushima, Japan, March 7, 2009*, pp. 52-66, 2009.

5. 学会発表

- 1) Hirofumi Nagashino and J. A. Scott Kelso: A neural oscillator model of phase transitions in coordinated rhythmic movements, *Proceedings of 1990 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Matsuyama, Japan*, p. 443, Oct. 1990.
- 2) Rozzano C. Locsin, Tetsuya Tanioka and Chiemi Kawanishi: Nursing Practice and Technology, *The international workshop in Beijing University of Posts and Telecommunications*, Beijing, China, Nov. 2005.
- 3) Shuuhei Higashi, Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Development of a Measurement System of EEG and Its Spectrogram, *Proceedings of 2007*

- Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Matsuyama, Japan*, p. 181, September 2006.
- 4) Reiji Suzuki, Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A Method of Analysis for alpha-wave in EEG under Tinnitus, *Proceedings of 2006 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Matsuyama, Japan*, p. 180, September 26, 2006.
 - 5) 新谷洋人, 芥川正武, 長篠博文, Abhijit S. Pandya, 木内陽介: ステップ幅を可変にしたAlopex algorithm, 平成18年度電気関係学会四国支部連合大会講演論文集, p. 187, 講演番号14-10, 松山, 2006年9月.
 - 6) Daisuke Adachi, Takayuki Araki, Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya : Inhibition of Oscillation by Noise in a Neural Network Model for Treatment of Tinnitus, *Journal of Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers*, p.188, Sep. 2006.
 - 7) T. Tanioka, R. C. Locsin, A. Campling: Suggestions for service management using the strength of community residents in the depopulated area, *ICN International Conference, Yokohama, Japan, May 27 – June 1, 2007*.
 - 8) K. Osaka, T. Tanioka, R. C. Locsin, C. Kawanishi, T. Tada, F. Ren, S. Ueno: Sensibility Estimation Technique Contributing to Caring as Technological Competency in Nursing, *The 10th East Asian Forum on Nursing Science (EAFONS) Conference, Silliman University, Dumaguete, Philippines*, p.33, 2007.
 - 9) T. Tanioka, R. C. Locsin, K. Matsumoto, K. Osaka, F. Ren, T. Tada and S. Ueno: Progress Management using AI for Psychiatric Clinical Pathway and Variance Analysis, *The 10th East Asian Forum on Nursing Science (EAFONS) Conference, Silliman University, Dumaguete, Philippines*, p.41, 2007.
 - 10) Ali A. Danesh, Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi and Abhijit S. Pandya: A plastic neural network model for tinnitus inhibition, *Advances in Tinnitus Assessment, Treatment and Neuroscience Basis Conference, Grand Island, New York, USA, June 22-24, 2007*.
 - 11) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Character recognition using neural networks and Alopex algorithm, *IEICE Technical Report on ME and Biocybernetics, Tokushima, Japan, MBE2007-20, Vol. 107, No. 154, pp. 1-4, July 2007*.
 - 12) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Dynamical property of a plastic neural network model for tinnitus therapy and inhibition of oscillation by two types of noise stimuli, *IEICE Technical Report on ME and Biocybernetics, Tokushima, Japan, MBE2007-36, Vol. 107, No. 154, pp. 63-66, July 2007*.
 - 13) Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A plastic computational model for tinnitus therapy, *Workshop on Biomedical Signal Processing, Tokushima, Japan, August 2007*.
 - 14) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Effect of Euclidean norm for receptive field, *Proceedings of 2007 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 240, September 29, 2007.
 - 15) Hiroki Okamoto, Masaya Sato, Ken'ichi Fujimoto, Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya : Inhibition of oscillation by high frequency sinusoidal stimulus on a plastic neural network model for tinnitus therapy, *Proceedings of 2007 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 241, September 29, 2007.
 - 16) Mizuki Takasu, Akihiro Senju, Ken'ichi Fujimoto, Yoshinori Tegawa, Hirofumi Nagashino, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya : Development of EEG measurement and noise output for monitoring of tinnitus, *Proceedings of 2007 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 242, September 29, 2007.
 - 17) Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka, Rozzano C. Locsin, Shingo Kuroiwa, Fuji Ren, Shuichi Ueno, Toshiko Tada and Chiemi Kawanishi: Dose Sensibility Estimation Technique Contribute to Caring as Technological Competency of Nursing?, *International Conference to Celebrate 100th Anniversary of college of Nursing Seoul National University, Seoul, Korea*, p. 256, October 2007.
 - 18) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: Recognition Mechanism of a MLP/BP, *Proceedings of Annual Conference of Systems and Information Division of SICE, Tokyo, Japan*, pp. 137-140, November 26-28, 2007.
 - 19) Tsutomu Shinohara, Makiko Yamashita, Akihito Nishiyama, Shoutaro Tsuji, Ruth Ann Henriksen, Quentin N. Myrvik, Yoshimi Shibata: Differential regulation of cyclooxygenase (COX) isoforms in alveolar (AM) and

peritoneal macrophages (PM) from heat-killed Mycobacterium bovis BCG treated mice, 94th Annual Meeting of The American Association of Immunologist Inc., May, 2007.

- 20) Yoshimi Shibata, Tsutomu Shinohara, Shoutaro Tsuji, Ruth Ann Henriksen, Akihito Nishiyama, Quentin N. Myrvik, Makiko Yamashita: Catalytically Inactive Cyclooxygenase 2 (COX-2) and Absence of PGE2 Biosynthesis in Murine Peritoneal Macrophages Following in vivo Phagocytosis of Heat-killed Mycobacterium bovis BCG, 94th Annual Meeting of The American Association of Immunologist Inc., May, 2007.
- 21) Yoshimi Shibata, Ruth Ann Henriksen, Quentin N. Myrvik, Harni Patel, Mirjana D. Pavlovic, Shizuka Shinohara, Traci Pantuso and Tsutomu Shinohara: Persistent pulmonary inflammation and cyclooxygenase -1 and -2 modifications in alveolar macrophages following in vivo phagocytosis of mycobacteria, *Experimental Biology*, San Diego, CA, USA, April 2008.
- 22) Hirofumi Nagashino, Ken'ichi Fujimoto, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A computational model for tinnitus management by sound therapy, *International Tinnitus Seminars, Gothenburg, Sweden*, Abstract Book, p. 85, June 15-18, 2008.
- 23) Hirofumi Nagashino, Mizuki Takasu, Soichi Nakamura, Keisuke Akashima, Ryota Bando, Ken'ichi Fujimoto, Yoshinori Tegawa, Masatake Akutagawa, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Development of EEG measurement and analysis for tinnitus monitoring, *Proceedings of 2008 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 251, September 27, 2008.
- 24) Shota Hattori, Masaya Sato, Hirofumi Nagashino, Ken'ichi Fujimoto, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A neuronal network model for tinnitus and its management by sound therapy, *Proceedings of 2008 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 252, September 27, 2008.
- 25) Hirofumi Nagashino, Ken'ichi Fujimoto, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: A neural network model for tinnitus management by sound therapy, *Proceedings of 2008 Annual Conference of Division of System and Information Science, The Society of Instrument and Control Engineers (SICE), Himeji, Japan*, pp. 529-530, November 26-28, 2008.
- 26) Hirohito Shintani, Masatake Akutagawa, Hirofumi Nagashino, Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi: A comparative approach for MLP/BP using alopex algorithm, *Proceedings of 2008 Annual Conference of Division of System and Information Science, The Society of Instrument and Control Engineers (SICE), Himeji, Japan*, pp. 531-534, November 26-28, 2008.
- 27) Mari Kogiso, Traci Pantuso, Ruth Ann Henriksen, C. Kathleen Dorey and Yoshimi Shibata: Differential effects of mucosal adjuvant cholera toxin (CT) on macrophage cyclooxygenase-2 (COX-2) and endoplasmic reticulum (ER) stress, *96th Annual Meeting of The American Association of Immunologist Inc.*, May 2009.
- 28) Traci Pantuso, Mari Kogiso, Tsutomu Shinohara, Ruth Ann Henriksen, C. Kathleen Dorey and Yoshimi Shibata: Mycobacteria induce the inactive form of cyclooxygenase-2 (COX-2) without inducing endoplasmic reticulum (ER) stress responses in local macrophages (MØ), *96th Annual Meeting of The American Association of Immunologist Inc.*, May 2009.
- 29) Yoshimi Shibata, Mari Kogiso, Traci Pantuso, Tsutomu Shinohara, C. Kathleen Dorey and Ruth Ann Henriksen: Heterogeneity of COX-2 macrophages in acute and chronic mycobacterial inflammation, *96th Annual Meeting of The American Association of Immunologist Inc.*, May 2009.
- 30) Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Inhibition of oscillation in a computational model for tinnitus and its management by sound therapy, *Third Tinnitus Research Initiative Meeting, Stresa, Italy, June 24-26, 2009*, Abstract Book, p. 31, June 2009.
- 31) Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Neuronal network models for tinnitus and its management by sound therapy, *IEICE Technical Report on ME and Biocybernetics, Tokushima, Japan*, MBE2009-35, Vol. 109, No. 123, pp. 91-95, July 2009.
- 32) Hirofumi Nagashino, Yohsuke Kinouchi, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: Comparison of neuronal network models for tinnitus and its management by sound therapy, *Proceedings of 2009 Shikoku-Section Joint Convention of the Institutes of Electrical and Related Engineers, Tokushima, Japan*, p. 218, September 26, 2009.

6. 国際会議セッションの組織化

- 1) Intelligent paradigms and applications, Organizers/Chairs: Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi, *Third International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems*, Adelaide, Australia, August 30 - September 1, 1999.

- 2) Biologically inspired paradigms in computational intelligence, Organizers: Abhijit S. Pandya, Hirofumi Nagashino and Peter Szabo, Chairs: Abhijit S. Pandya and Yohsuke Kinouchi, *Fifth International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information Engineering Systems & Allied Technologies*, Kashiwara, Japan, September 6-8, 2001.
- 3) Intelligent paradigms on biocybernetics and biomedical engineering, Organizers/Chairs: Abhijit S. Pandya and Hirofumi Nagashino, *7th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems*, Oxford, United Kingdom, September 3-5, 2003.
- 4) Intelligent system design, Organizers/Chairs: Abhijit S. Pandya and Hirofumi Nagashino, *7th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems*, Oxford, United Kingdom, September 3-5, 2003.
- 5) Intelligent system design, Organizers/Chairs: Abhijit S. Pandya and Hirofumi Nagashino, *8th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information and Engineering Systems*, Wellington, New Zealand, September 22-24, 2004.

7. 研究助成金

- 1) 鈴木茂行, J. A. Scott Kelso他: 新しい工学技術創造を目指した生体高次機能の学際的研究, Monbusho文部省科学研究費補助金 国際学術研究大学間協力研究 1997~1999年度.
- 2) 長篠博文, 芥川正武, Ali A. Danesh and Abhijit S. Pandya: 脳波計測と数理モデルを用いた聴覚系脳活動の解析, 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) 2009~2011年度.

その他の交流

1. 1997年10月

FAU John T. Jurewicz (ジョン・T・ユレウィッツ) 工学部長, 徳島大学工学部創立75周年に当たり, 祝賀メッセージ。